

「一緒の小学校に」実現

難病のリー脳症を患う鳥取県湯梨浜町久留のリーチャードソン恵美里ちゃん(6)が4月に、同町の羽合小に入学することが決まった。母の晶子さん(31)は「子どもは友達をつくるのが上手。恵美里にとっていい環境になる」と喜んでいる。県教委によると、常時人工呼吸器を付けている医療的ケア児の小学校への入学は県内で初めて。

難病リー脳症のリチャードソン恵美里ちゃん



恵美里ちゃん(右)の入学が決まり、喜ぶ晶子さん＝鳥取県湯梨浜町久留

医療的ケア児入学は県内初

これまで自治体の努力義務だった支援が責務となったことも追い風になった。

恵美里ちゃんは、特別支援学級に入級し、児童と一緒にできることやケアの時間などを考慮し、時間割を作成していく。同教委は「子どもたちが互いの良さを理解し、相手の立場を考えるきっかけになる。全ての児童が通える体制を整えたい」と話している。晶子さんは「小学校の子どもたちも最初は戸惑うかもしれないが、将来、個性を受け入れる大人に育ってくれるのでは」と期待を寄せる。

4月に羽合小へ 体制整備

など、日常的にたんの吸引などが必要な医療的ケア児。地域と積極的に関わる晶子さんは「近所の子どもたちと一緒に小学校に通わせたい」と長年、

同小への就学を望んできた。給排水設備やカーテンの仕切りを整備し、ケアに当たる看護師を2019年から募集する。昨年、医療的ケア児とその家族を支援する法律も成立し、こ

入学式は4月12日。桜もほころび春めくころ、恵美里ちゃんの新生活がスタートする。

(加嶋祥代)

開く。この3週間とする案がある。は警戒を強める。正所 長野、静岡、京都、大阪、

北大西洋条約機構 (NA

特急やくも

乗りこ

JR米子支急やくも(岡山)に新型の27024年春から発表したる車上型の制り子方式を採にカーブなどわけて車体をとで乗り心地間隔の拡大やる設備も導入魅力向上と沿化を図る。